

出張講義のご案内

平成 25 年 5 月

ドキュメンテーション学科の概要

ドキュメンテーション学科は平成 16 年(2004 年)に設立され、今年度で 10 年目を迎えました。3 月には第 6 期生が卒業し、情報サービス産業の専門職をはじめ、事務、販売、福祉関係、公共図書館、大学図書館、企業図書館の司書など多方面で活躍しています。

ドキュメンテーション学科の教育目標

ドキュメンテーションというのは耳慣れない言葉だと思います。社会に存在するさまざまな情報を収集・整理し、発信するまでの過程を指す言葉です。文化的に貴重な古典籍資料や、現代社会でネットワーク上に存在する電子データなど、あらゆる「情報」を扱える能力を身に付け、社会に貢献できる人材を育成することを教育目標としています。情報学・書誌学・図書館学の三分野の教員で学科を構成し、日々教育に携わっています。

出張講義へのお誘い

幅広い学科カリキュラムの中から、高校 2・3 年生向けの内容で、40～50 分程度を想定してプログラムを用意しました(裏面をご参照ください)。「情報」「国語」または総合的な学習の時間を利用して頂けると幸いです。なお、パソコン等の設備が必要な場合もありますので、それぞれの授業の内容をご確認ください。

学期中はそれぞれの教員の空き時間で対応することになりますが、ご希望の教員の日程がうまく合わない場合でも、できるだけ対処いたしますので、ご相談ください。

担当教員紹介(五十音順)

伊倉史人(いくら・ふみと)准教授 文学修士 書誌学・日本文学

日本古典文学(和歌文学)研究のかたわら、日本古典籍の書誌学的研究を行う。2004 年より現職。神田神保町の若手古書店員の勉強会「典遊会」講師。

大矢一志(おおや・かずし)准教授 博士(学術) 情報科学

企業において古典籍のデジタル化や電子出版に携わる。2004 年より現職。マークアップ言語による文書処理を専門とし、国際学会でも活動。

久保木秀夫(くぼき・ひでお)准教授 博士(文学) 書誌学・日本文学

日本古典文学(和歌・物語文学)研究のかたわら、日本古典籍の書誌学的研究を行う。国文学研究資料館助教を経て、2010 年より現職。散佚した写本の復元に関する研究をしている。

角田裕之(つのだ・ひろゆき)教授 博士(図書館情報学) 図書館情報学

書籍販売企業に勤務後、他大学教授を経て 2012 年より現職。文献情報を計量的に分析する方法を研究している

長塚 隆(ながつか・たかし)教授 農学博士 情報学

日本における商用データベース研究の第一人者として長年企業で活躍。2004 年より現職。著作権や情報倫理にも詳しい。

原田智子(はらだ・ともこ)教授 文学修士 図書館情報学

医学情報センターに勤務後、他大学教授を経て 2004 年より現職。情報検索のプロが作る研究会「サーチャーの会」の会長。情報検索や図書館における情報サービスの研究をしている。

元木章博(もとぎ・あきひろ)准教授 教育学修士 教育情報学

大学や研究所の職員を経て、情報通信会社でネットワークの構築などに活躍。2005 年より現職。情報教育の教材やコンピュータを利用した教育方法の開発を研究している。

〈詳しくは、学科ホームページ <http://ccs.tsurumi-u.ac.jp/docu/>をご覧ください

お問い合わせは鶴見大学 入試キャリアセンターまで。

〒230-8501 横浜市鶴見区鶴見2-1-3 電話 045-580-8219, 045-580-8220 (直通)

1 電子出版と編集者	大矢一志
紙の本を作る歴史の中でも、編集者の役割は変化してゆきました。現在は、電子出版の時代を迎え、編集者に求められる仕事は大きく変化しています。編集者に求められる新しい知識とは、そして、今後も変わらずに求められる知識とは何かを解説します。	
2 人文情報学の紹介	大矢一志
海外の文学部では、コンピュータを使った授業や研究が急速に広まっています。この授業では、海外の様子を紹介しながら、コンピュータを使った人文学研究という分野を解説します。	
3 あなたの受け取ったメールは本物ですか？	元木章博
インターネットでよく利用されているサービスである電子メール。色々な人たちが使っています。しかし残念なことに、電子メールを悪用する人がいます。この話では、電子メールの仕組みや最近のメール事情をお話します。	
4 どうしてホームページが見られるの？	元木章博
パソコンや携帯で色々なホームページを見ることが出来ますが、なぜ、ホームページを見ることができるのでしょうか？ 何がお膳立てされていれば、パソコンや携帯がネットワークにつながるのでしょうか？ この話では、インターネットの仕組みや最近のホームページ、インターネット事情をお話します。	
5 現代社会とデータベース	長塚隆
社会の様々な場で、データベースが利用されています。データベースの仕組みを簡単に紹介し、様々な利用例を通じて、社会の中でのデータベース役割を理解します。さらに、今後のデータベースの可能性について考えます。	
6 デジタル情報と著作権	長塚隆
現代はアナログ情報からデジタル情報への大きな転換期に当たっています。どのようなデジタル情報があるのかを紹介し、いくつかの事例を通して、デジタル情報の特徴と著作権のかかわりについて考えます。	
7 昔の本に触れてみよう	伊倉史人 久保木秀夫
江戸時代に日本で作られた和綴じの書物の実物に触れて、その大きさ・重さ・手触りを実感してもらいます。昔の本の作り方について、大きさや装訂の意味についてわかりやすく解説します。(本はこちらから持参します)	
8 昔の本を読んでみよう	伊倉史人 久保木秀夫
江戸時代に出版された『徒然草』(または『古今和歌集』『源氏物語』など)と手書きで書かれた『徒然草』を読み比べます。くずし字を読み解く作業をしながら、版本と写本の違いを考えていきます。	
9 情報検索入門	原田智子
情報検索の種類や方法について解説をします。そして検索エンジンを使った検索の注意点などについて、実際の検索事例などを紹介しながら説明します。	
10 世界の図書館をめぐる旅	原田智子
ひとくちに図書館といっても、国立図書館、公共図書館、学校図書館などいろいろな図書館があります。世界の図書館を紹介しながら、それぞれの図書館の特徴を解説します。	
11 本や雑誌が図書館へ届くまで	角田裕之
図書館にある様々な本や雑誌の編集と出版について、及び、図書館へ到着するまでの流通について紹介します。	
12 司書の仕事	角田裕之
図書館では、司書は多様な仕事をしています。ある司書の日を例にして司書の仕事を紹介します。	